

2021 年度 10 月 進学を目指す子どもたちの横顔

- ・ 0 歳から乳児院で暮らした A さん。中学 2 年生のときに体が動かなくなる難病を発症しました。様々なことができなくなる中、「勉強はできる」と気が付き、もともと関心のあった英語を継続して学んできました。夢は、英語を活かした翻訳家になることです。
- ・ B さんは、父から虐待を受け、死にたいと感じていました。15 歳からは里親家庭で暮らし、周囲の大人に支えられ勉強や部活動のほか、生徒会、ボランティアにも取り組んできました。将来は、自分と同じような境遇で苦しんでいる人を支えたいと考えています。
- ・ C さんの児童養護施設での生活は、性別が異なるために兄と離れてのものになってしまいました。そうしたことの起こらない社会的養護の環境整備を望んでいます。自身の性格について、バレーボール部の部長を務めた経験をもとに「リーダーシップがある」、「一度決めたことは本気で取り組む」と分析しています。
- ・ 手話や点字、地域の清掃、施設行事など様々なボランティア活動をしてきた D さん。責任感が強く、困難があっても努力してやり通す性格です。演劇部では部長を務めました。芸術学部を志望しています。
- ・ 父母の死、親族による虐待、自身の病気と様々な困難を経験した E さん。理学療法士を目指し、専門学校に進む予定です。アルバイトにも励み、進学後のために貯めたお金がもうすぐ 100 万円になります。